

さよなら、ベルリン またはファビアンを選択について (2021)

FABIAN ODER DER GANG VOR DIE HUNDE
FABIAN: GOING TO THE DOGS

メディア 映画
ジャンル ドラマ ロマン스
製作国 ドイツ
色彩 Color
時間 178分
初公開日 2022/06/10
公開情報 ムヴィオラ
映倫 PG12

【キャッチコピー】
僕はどこへ？

【解説】
『飛ぶ教室』などで知られるドイツを代表する児童文学作家エーリッヒ・ケストナーの唯一の大人向け長編小説『ファビアン あるモラリストの物語』を「コーヒーをめぐる冒険」「ある画家の数奇な運命」のトム・シリング主演で映画化したドラマ。ナチスの足音が忍び寄る1931年のベルリンを舞台に、退廃的な空気の中で不安を抱えて生きる作家志望の青年ファビアンが、女優を目指す恋人コルネリアや唯一の親友ラバーデと織りなす狂騒と葛藤の日々を描く。共演はザスキア・ローゼンダール、アルブレヒト・シュッフ。監督はドイツのTVを中心に活躍するドミニク・グラフ。

【クレジット】			
監督	ドミニク・グラフ	Dominik Graf	『ファビアン あるモラリストの物語』（みすず書房）
製作	フェリックス・フォン・ブーム	Felix von Boehm	
原作	エーリッヒ・ケストナー	Erich Kastner	
脚本	コンスタンティン・リープ ドミニク・グラフ	Constantin Lieb Dominik Graf	
撮影	ハンノ・レンツ	Hanno Lentz	
プロダクション デザイン	クラウス＝ユルゲン・ファイファー	Claus-Jurgen Pfeiffer	ファビアン コルネリア ラバーデ
衣装デザイン	バルバラ・グルップ	Barbara Grupp	
編集	クラウディア・ヴォルシュト	Claudia Wolscht	
音楽	スヴェン・ロッセンバッハ フロリアン・ファン・フォルックセン	Sven Rossenbach Florian van Volxem	
出演	トム・シリング ザスキア・ローゼンダール アルブレヒト・シュッフ	Tom Schilling Saskia Rosendahl Albrecht Schuch	

アリョーシャ・シュタデルマン
ペトラ・カルクチュケ
オリヴァー・ラインハルト
ミヒャエル・ヴィッテンボルン
アンヌ・ベネント
メレト・ベッカー

Aljoscha Stadelmann
Petra Kalkutschke
Oliver Reinhard
Michael Wittenborn
Anne Bennent
Meret Becker

イレーネ・
モル